

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書

総合的な思春期・若年成人（AYA）世代のがん対策のあり方に関する研究

「AYA世代がん患者の妊孕性温存に関する研究：地域モデル構築の統括およびマニュアル作成」

研究分担者 中塚幹也 岡山大学大学院保健学研究科 教授

研究要旨：岡山県を中心とした医療圏におけるがん治療施設と生殖医療施設の医師，看護師へのがん患者の妊孕性温存に関する情報の啓発・研修を行った。また，実際にがん患者への情報提供や紹介を行うことのできる施設を検索できる WEB 版妊孕性温存マップを制作した。また，岡山県に陳情書を提出し可決された。

A．研究目的

地域完結型がん・生殖医療連携の全国展開(日本版 Oncofertility Consortium)による AY A 世代のがん患者の妊孕性に関する支援とそのための人材育成を目的とする。

特に，岡山県を中心とした医療圏におけるがん治療施設と生殖医療施設の医師，看護師へのがん患者の妊孕性温存に関する情報の啓発・研修を行う。また，がん治療施設と生殖医療施設の医師，看護師，胚培養士等が議論し，システムの再構築を行う。

B．研究方法

定期的症例カンファレンス，公開セミナーを実施する。がん治療や生殖医療を行っている医療スタッフ，また，がん患者へ，各施設の情報提供を行うシステムを構築する。

倫理的配慮 該当せず

C．研究結果

1)岡山県の医療圏のがん治療施設と生殖医療施設の医師，看護師へのがん患者の妊孕性温存に関する情報の啓発・研修を定期的に行い，実践的な症例カンファレンスを行うとともに，公開セミナーを実施し参加者を拡大させた。

2)WEB上で，がん治療や生殖医療を行っている医療スタッフ，また，がん患者が，岡山県の医療圏において，がん患者の妊孕性温存に関する情報提供をしている検索できる施設を検索できるシステムを開発した。

3)岡山県に，がん患者の妊孕性温存への公的補助，がん患者の妊孕性温存の啓発についての陳情書を提出し，県議会で可決された。

D．考察

2017年度から，毎月，定期的に，がんと生殖医療ネットワークOKAYAMAの定例カンファレンスを行うこと，また，公開セミナーを行うことで，メンバーが増加するとともに，実践的なシミュレーションが可能になった。

また，2018年3月には，がんと生殖医療ネットワークOKAYAMAにおけるネットワークが，WEB版のマップをして表現され，可視化することができた。

E．結論

岡山県のみならず，近県も含めた連携のためのネットワークの再構築がなされた。また，岡山県の政治家，行政などへも啓発することができ，2018年度の事業につながった。

F．健康危険情報

特になし

G．研究発表

1．論文発表

続・騒がしい精子と卵子 子どもと話したい生殖医療，続・騒がしい精子と卵子 子どもと話したい生殖医療，岡山大学大学院保健学研究科，岡山，2017，pp. 1-78，中塚幹也。

第 章生殖補助医療の歴史と現状，岡山大学生殖補助医療学教科書作成委員会編，生殖補助医療技術学入門，岡山大学出版会，岡山，2017，pp. 6-12，舟橋弘晃，中塚幹也。

第 章ヒト生殖器の解剖学と内分泌機構，岡山大学生殖補助医療学教科書作成委員会編，生殖補助医療技術学入門，岡山大学出版会，岡山，2017，pp. 13-18，中塚幹也，杉本盛人

第 章関係基礎技術，岡山大学生殖補助医療学教科書作成委員会編，生殖補助医療技術学入門，岡山大学出版会，岡山，2017，pp. 35-42，舟橋弘晃，若井拓哉，本橋秀之，中塚幹也。

悪性腫瘍等の治療に関与する医療スタッフにおける生殖機能温存についての意識と対応，日本不妊力カウンセリング学会誌，16，56-57，2017，宮本志

織，片岡久美恵，中塚幹也宮本志織，片岡久美恵，中塚幹也。

2. 学会発表

Mikiya Nakatsuka : Nationwide survey on a ttitude toward social egg freezing: Social influence on women 's empowerment and increase in the average age of childbirth. 第69回日本産科婦人科学会，2017年4月13-16日。

矢野肇子，中塚幹也，樫野千明，松岡敬典，長谷川徹，酒本あい，小谷早葉子，鎌田泰彦，平松祐司：悪性腫瘍患者に接する医療スタッフにおける妊孕性温存への意識と支援の実態第69回日本産科婦人科学会，2017年4月13-16日。

宮本 志織，片岡 久美恵，中塚 幹也：悪性腫瘍等の治療に關与する医療スタッフにおける生殖機能温存についての意識と対応の実態，第16回 日本不妊カウンセリング学会。2017年6月2日。

酒本あい，宮原友里，松岡敬典，藤田志保，久保光太郎，小谷早葉子，鎌田泰彦，増山 寿，中塚幹也：若年血液腫瘍患者に対する妊孕性温存療法の経験。第70回中国四国産科婦人科学会，2017年9月23-24日。

宮原友里，酒本あい，松岡敬典，藤田志保，久保光太郎，小谷早葉子，鎌田泰彦，中塚幹也，増山 寿：当院での若年血液腫瘍患者の妊孕性温存に対する取り組み 第62回日本生殖医学会学術講演会・総会，2017年11月16日。

酒本あい，松岡敬典，藤田志保，久保光太郎，長谷川徹，小谷早葉子，鎌田泰彦，増山 寿，羽原俊宏，林 伸旨，中塚幹也：「がんと生殖医療を考える ネットワークOKAYAMA」の試み。第42回岡山産科婦人科学会総会ならびに学術講演会，2017年11月19日

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし